



神山小・佐多小学校 交流学习

P 2～4

予算

補正予算

P 5

審議

私の判断

P 6～15

町政を
問う

一般質問 9名が登壇

P16～17

調査

所管事務調査

(議案第4号) 一般会計補正予算 (第1号)

2億4千460万5千円を増額補正可決

総額 72億7千302万5千円に!

6月定例会

6月定例会を8日から29日までの会期22日間で審議しました。

8日には、専決処分の報告(6件)、条例改正(3件)が提案・可決されました。

また、町長の所信表明に伴い令和3年度骨格予算であった当初予算に、一般会計補正予算など6件が提案され、委員会で審議することになりました。

22日・23日には一般質問が行われ、9名が登壇し、行財政全般に渡って質問しました。

29日には、陳情(1件)補正予算(6件)、人事案件(2件)、委員会提出議案(1件)が審議され、すべて原案のとおり可決及び採択しました。



補正予算勉強会

● 主な専決処分

・南大隅町税条例の一部を改正する条例の専決処分

(税制改正に伴う改正)

・令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書について

・令和2年度一般会計補正予算(第13号)の専決処分

(1億4千63万円減額)

・令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分

(1億7千2百37万8千円減額)

・令和2年度診療所事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分

(59万2千円減額)

・令和2年度介護保険事業(保険事業勘定) 特別会計補正予算(第4号)の専決処分

(2千8百82万6千円減額)

● 主な条例改正

・固定資産評価委員会条例の一部を改正する条例

(審査申出人の押印省略)

・大泊海浜公園条例の一部を改正する条例

(使用料等の改正)

・子ども医療費助成条例の一部を改正する条例

(住所地特例の追加)

農業公社設立調査事業

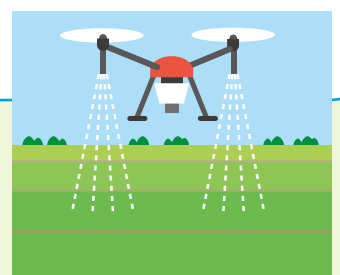
補正予算額:

228万1千円

(経済課 農政係)

新規

将来的な地域農業の維持継続に向けて、総合的にその対策に取り組む農業公社を設立するため、先進地域の事例調査を実施する事業です。



6月補正予算の注目すべき事業（一般会計）

当初予算が骨格予算であったことから、今回補正で本年度の各事業費が計上され、すべて原案のとおり可決しました。主な事業等は次のとおりです。

プレミアム商品券 発行事業

補正予算額：

1千87万5千円

（商工観光課 農商工連携係）

新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した地域経済の活性化及び生活支援を図る重要性に着目し、お中元時期からお歳暮時期にかけて使用できる「プレミアム商品券（プレミア率 50%）」を発行する事業です。

地域おこし協力隊事業

補正予算額：

404万4千円

（企画課 政策統計係）

地域を担う世代が足りない、高齢化対策・伝統行事等の継承・史跡の維持など山積する地域の課題解決のため、今年度は辺塚公民館と連携し、移住者としての視点を活かし、地域活性化に向けた活動を実施する事業です。

肝属郡医師会立病院 再整備事業基本計画 策定事業

補正予算額：

550万円

（町民保健課 保健衛生係）

昭和 56 年の開院から地域医療の拠点病院として役割を果たしてきた肝属郡医師会立病院、39 年を経過し施設の老朽化に伴う建て替えのため、新病院の機能、規模、付随して整備する施設や建設場所等を協議し、再整備に向けた基本計画策定のための事業です。

GIGA（ギガ）スクール サポーター配置促進 事業

補正予算額：

131万2千円

（教育振興課 学校教育係）

一人一台端末の GIGA スクール構想の実現に向け、専門業者による各学校での ICT 環境の設計や使用マニュアル作成、オンライン学習の実施に関する支援等を行う事業です。

産業振興支援事業

補正予算額：

780万円

（経済課 産業振興係）

第一次産業の担い手確保対策として、認定農業者、認定新規就農者、漁業担い手、林業担い手等の自立を促し、将来性のある第一次産業育成のため、就農後 3 年間に限り機材導入支援を行う事業です。

関係人口拡大創出プロジェクト事業

補正予算額：

1千76万6千円

(企画課 ふるさと交流係)

新規

地域総合整備財団（ふるさと財団）の事業を活用し、第2次総合振興計画の重点戦略における「暮らす」「働く」「もてなす」を軸に事業展開する。

コロナ禍による新たな生活様式に対応するため、オンラインでの特産品等のマルシェ販売^{※1}やツアー交流^{※2}などを実施することで、町や商品の認知度を高め、より深い関係人口を増やし、移住、多拠点等の候補地検証と合わせて、10年後の町を意識した住民一体となった町づくりに取り組む事業です。

※1 マルシェ販売とは………消費者と直接のやりとりをしながら販売すること。

※2 ツアー交流とは………観光旅行ではできない体験活動や現地住民のみなさんとの交流などを通して相互理解を深め、親睦を図ること。

特産果樹類プロモーション事業

補正予算額：

450万円

(経済課 農政係)

高級フルーツ店の新宿高野と連携して、特産品果樹の商品性向上を図るため、首都圏におけるPR活動を充実させ、知名度アップと合わせて加工品レシピ開発を行い、高付加価値化に取り組む事業です。

住み続ける住宅助成事業

補正予算額：

1千万円

(建設課 土木係)

高齢者や子育て世代等が安心・安全に住み続けるため、住宅を改修する費用を一部補助し、定住の促進を図る事業です。

一般世帯：対象工事費の15%（上限 25万円）

子育て世帯：対象工事費の20%（上限 30万円）

〔建設課における道路等整備計画〕

- ・ 梶南谷線路面補修工事
- ・ 下園中線路面補修工事
- ・ 瀬戸山土橋線路面補修工事
- ・ 諏訪中線路面補修工事
- ・ 古殿針馬場線側溝補修工事
- ・ 古里川護岸補修工事測量設計業務委託 など

水道事業会計

補正予算額：

「水道監視システム改修」1千894万8千円

(建設課 水道係)

浄水場や配水池などの水道施設情報を、これまで根占地区・佐多地区それぞれで監視していましたが、これらの情報をタブレット端末で一括監視できる体制を整え、漏水や故障等に迅速に対応できるよう、有線通信方式から通信費の安いモバイル回線を利用した無線方式に切り替え、データセンターを利用したクラウド監視システムを導入する事業です。

私の判断

(○…賛成、×…反対)

(6月の議案審議結果)

※議長は表決には加わりません。

		結果	後藤道子	森田重義	日高孝壽	浪瀬敦郎	上之園健三	津崎淳子	平瀬十助	大村明雄	幸福恵吾	大坪満寿子	木佐貫徳和	松元勇治
報告	税条例等の一部を改正する条例の専決処分について	同意可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和2年度一般会計補正予算(第13号)の専決処分について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和2年度診療所事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和2年度介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第4号)の専決処分について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	大泊海浜公園条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	子ども医療費助成条例の一部を改正する条例制定の件	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和3年度一般会計補正予算(第1号)について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和3年度診療所事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和3年度介護保険事業(保険事業勘定)特別会計補正予算(第1号)について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和3年度介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計補正予算(第1号)について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
陳情 発案	令和3年度水道事業会計補正予算(第1号)について	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発案	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

【選挙管理委員会委員
選任に同意】

選挙管理委員会委員に、議長の指名推薦により次の方の選出に同意しました。

【選挙管理委員】

篠原 敏行 氏(佐多伊座敷)
徳永あゆみ 氏(佐多伊座敷)
天目石幸一 氏(根占辺田)
中村八重子 氏(根占横別府)

【補充員】

伊比礼純一 氏(根占山本)
鹿間 邦夫 氏(根占川北)
垂水 澄江 氏(佐多伊座敷)
小田 武志 氏(佐多伊座敷)
(任期) 令和3年6月30日から
令和7年6月29日まで

【教育委員会委員任命
に同意】

畠中 泉 氏(佐多伊座敷)
の教育委員会委員の任命に同意しました。
(任期) 令和3年7月1日から
令和7年6月30日まで

一般質問



質問順	質問事項	質問議員
1	・町長のマニフェストについて ・大隅縦貫道大中尾工区について ・はまゆう保育所について	木佐貫 徳 和
2	・環境保全対策について ・経済対策について	大 村 明 雄
3	・職員の働き方について	幸 福 恵 吾
4	・地域課題について ・高齢者及び障がい者対策について ・立神公園整備について	浪 瀬 敦 郎
5	・防災対策について ・新成人（式）について ・放射性廃棄物問題について	大 坪 満寿子
6	・生活（経済）支援等と給付事業について ・働き方改革について	津 崎 淳 子
7	・農業所得の向上対策について ・町道辺塚港線の拡幅整備について	上之園 健 三
8	・町長所信表明について ・自主財源について ・観光イベント中止について ・コロナ禍での学校教育に状況について ・消防団体制について	森 田 重 義
9	・SDGs の取り組みについて ・移住・定住の居住環境整備について ・ネッピー・みさきちゃん奨学金について ・学校運営について	後 藤 道 子

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を資し、所信の表明を求めるもので、議員固有の権能として与えられたものです。

一人当たり持ち時間は、答弁を含め 60 分です。掲載されている内容は、質問者自身が要約し広報委員が構成したものです。

※本議場は、登壇席、質問席に新型コロナウイルス感染予防対策として、飛沫拡散防止にアクリル板を設置しております。

木佐貫 徳和 議員

選挙で町内を廻られ、
どのようなことを感じたか



町長
人口が減っても町民が安心して
暮らせる町づくりを目指そうと
感じました

町長
選挙で町内を廻り、様々
なご意見や要望を賜り、そ

の中で感じたことは、空き家が多
く、独居世帯が多い、耕作放棄
地が多いことや、自治会運営への
不安など強く感じました。そのこ
とから「人口が減っても町民が安
心して暮らせる町、本物の自然や
食を楽しめて町外の人々がまた行
きたいと思える町づくりを目指そ
う」と感じました。

議員
昭和30年代、40年代の日
本の高度成長期に子どもた

ちは都会へ就職していき、田舎で
は親が老いていく、これが現実で
ある。80代、90代の方は一生懸命
生活しておられる。その方々に平
等に行政のサービスをしなければ
ならないと感じる。そのような中

で、昨日まで元気だった方が、突
然亡くなり発見されるケースがあ
る。昨年度、自宅で発見され警察
の検視を受けた人数と緊急搬送さ
れた方は何人いるか。

福祉課長
警察の検視を受けた方は
12名、緊急搬送は291名
でした。

議員
早く発見できれば救え
る命があったかもしれない。

それには、地域の皆さんの見守り
活動が一番効果的だと思うが、ど
のようなことが行われているか。

福祉課長
民生委員、児童委員によ
る見守り活動のほか、旧小学
校区に地区社協を設置し自治会単
位で見守り活動を実施しています。

議員
普段からの隣近所との
付き合いが大切だと思うが、

新聞、郵便、ガス、弁当等の配達
する人と協定を結び、具合が悪そ
うな人を発見したら、連絡するシ
ステムを作るのはどうか。

町長
見守りに関する協定は、
効率の良い見守り体制の構
築のために今後検討します。

議員
空振りでもいいので、連
絡体系をしっかりと取れるよ
うな制度を作っていただきたい。

はまゆう保育所に
ついて

議員
令和4年度をもつて、現
施設運営者が閉園されると
聞いたが、今後の方針はどうなる
のか。

町長

地域の方々や保護者の
方々からぜひ残してくれと
の要望を賜っており、ご意向を尊
重し存続していきます。

議員
園児数はどの程度、現在
いるか。

福祉課長
令和3年4月1日現在、
16名です。

議員
佐多保育園として、直営
で行うことは考えられない
か。

町長
様々な要因から、平成20
年度から公設民営での方式
で社会福祉法人による、民営での
運営をしていただいています。

そのような経緯から、事業継承
される法人等があれば、今後も民
営方式でお願いしたいです。

議員
運営を継承してやりたい
方がスムーズに認可が下り
るように、県の担当課としっかり
協議していただきたい。

また、佐多小学校の学童保育も
引き続きやつてもらえるのか。

町長
学童についても、保育所
と一緒に地元の方々を引き
続き運営していきたいと聞いてい
ます。

議員のひとり言

見守り活動の充実で、安心して暮らせる町に……

ポイ捨て禁止条例を 制定する考えはないか



町長 「南大隅町ふるさと環境美化条例」の中で、ポイ捨て防止についての施策も含まれており、同条例の9条にポイ捨てや落書きの禁止条項も掲げていると

ことでございます。

議員 インパクトのあるポイ捨て禁止条例制定のまち、南大隅町とし、罰則規定を設け、この名称も「ポイ捨て禁止条例」という強い意味合いを持ったものに変える考えはないか。

町長 議会の同意が得られ、そして関係機関、世代を問わず誰もが分かる条例の名称改正、これは大事なことと思っております。

議員 ポイ捨て禁止条例が制定された際には、看板を作成して町内の有効な場所に立てる考えはないか。

町長 「ポイ捨て条例制定のまち南大隅町」と、そういった形できっちり条例整備をしている町としてアピールできるための看板は立てていきたいと思えます。

水産業をはじめ第一次産業生産物の状況とそれを今後どのように支援していくのか

町長 農業の耕種部門において特徴的に春バレイショ、えんどう類で近年にない高値となり、他の品目においても全体的に極端な落ち込みは見られておりません。ねじめ漁協では国のコロナ対策事業の販売促進事業により、販路開拓に取り組んでいるところであり

ます。

議員 水産業においては、前年比21億円の減収だったと、個人・法人、そして3漁協に対し、実際どのような支援がなされたのか。

経済課長 ねじめ漁協が事業実施主体として、前年度に引き続き

国の事業への取り組みと、また新たに事業が計画されております。この事業は、飲食店等への出荷分を、新たな販売形態を活用することで、経費の2分の1が補助される事業。学校給食へ提供し、生産供給体制の維持を図ることで経費の全額を補助する事業でございます。

議員 経済の好不調に係わらず常に消費拡大策、或いは販売促進、販路拡大など強力にサポートするのは政治の大きな役割と考えるが、どういうサポート、支援策があるか。

町長 漁協関係につきましては、これまでの出荷量、需要が

少なくなっていることから、魚そのものを早く出荷できる方策や出荷先、また出荷体系など、コロナ収束を見据えた段階での出荷の方法を今の時期から検討していくべきだと考えています。

議員 産地の責任、産地の町として、町民としての責任、小さいかもしれないけど町民に消費する姿勢、態度も町外にアピールし責任を持って消費する。そういう姿勢を見せる必要があると思います。肉の感謝祭などは本当に消費拡大ということを町民に植え付ける、それとお魚まつり、あいうのも魚を食べて健康になりましょうというようなアピールで、まず町民にPRして消費していただく必要があると思うが、町長はどう考えるか。

町長 イベントの開催については、それぞれの立場の方々、また町民の方々のご意見をお聞きして、前向きな形で取り組まさせていただきますことをお話しさせていただきます。

議員 町長は町のトップセールスマンとして町外にどんな町の産物を出して行っているか。

町長 町長は町のトップセールスマンとして町外にどんな町の産物を出して行っているか。

「すぐできる町民要望は

即実行できるよう、職員の意識改革による迅速な町民サービスにより行政運営を図る」とはどのようなものか



町長

係をワンチームとした、業務の効率化と既存事業の見直しを実施することにより、地域課題解決や地域要望に対応できる業務意識の向上を目指します

議員

職員一人一人の通常業務の負担が大きいうように感じます。高齢者の方が多い町で人と人が向き合った手厚いサービスをを行うっていくためにも、スクラップアンドビルドで事業の見直しを行っていただきたい。

平日の夜間や土日祝日に出勤している職員が多いように感じるが超過勤務の状況は。

町長

令和2年度の時間外勤務命令による超過勤務時間は、全体で9,365時間となつ

ており、時間外勤務の多い部署としては、総務課が2,023時間と最も多く、次に町民保健課が1,192時間となっております。時期としては、9月が一番多く、その要因として台風時期の避難所開設による事務量の増大が主なものです。また、時間外勤務による振替の取得率は47%となっております。今後におきましても、引き続き時間外勤務の縮減には努めてまいりたい考えです。

議員

人事について、職員の一人一人の顔ぶれを見ると、それぞれ得意分野を持った方、町への思い入れを持った方ばかりだと感じます。その職員一人一人の持っている力を最大限に発揮できるように配置を考えていただきたいと思います。総合職で採用された方のスキルアップを目的としての配置も重要だとは思いますが、元々得意とする分野であったり、経験のある分野に配置し、スペシャリストとして育てていくことも必要ではないかと感じていますが、町長の考え方は。

町長

職員は採用された時点で、町民の公僕として町民のために働くことがまず第一命題でございます。そして、採用によつては技術職としての採用もありますし、一般事務総合職での採用もあります。しかしながら、行政全般を知り得ること、町内全域を知り得るものが、町民の方々からの信頼を得るものだという考えから、人事行政にもあたつてきております。

議員

人事に関わる職員の評価や、希望調査等について。

町長

職員への人事評価について、現在は年に2回の業績評価、年1回の能力評価において、各職員との面談を管理職が行っております。そこでの職員からの声を十分に人事等に反映できるように形を作っております。

職員へのアンケート調査について、現在検討中であり、今後関わりたい業務や昇任や降任等、職員がどう考えているかという部分についても聞き取り等行っていくと考えております。

議員

職員への人事希望等については、一人一人との対話を大事にしながら進めてほしいと思います。管理職の方も様々なハラスメントが言われる中で、職員をまとめていくことには苦慮されているところもあると思いますが、選ばれた管理職の方が広い心と確かな判断力をもってチームをまとめていただきたいと思います。そして、一人一人がそれぞれの力を発揮しながらも、必要なときは支えあつて、チームとして業務を行っていく、温かい雰囲気づくりを各課で行ってほしいと思います。今後、この町に移住したい、働きたいと思う方を増やすためにも、職員一人一人がいっきと仕事をして、活力ある地域づくりを進めてほしいと思います。

地域課題について

人口増対策について

町長 転入と転出の差である社会減対策として定住促進住宅取得資金制度や住み続ける住宅助成事業の住環境支援策、また出生と死亡の差である自然減対策として、子育て支援特別手当・子ども医療費助成などの取り組みを行っています。

議員 これまでの実績は。

町長 平成26年から令和2年度まで、62世帯136人、うち11名新生児が誕生し、補助制度活用後に7世帯14名が転出しています。

集落環境整備事業について

町長 自治会放送の補修や公民館の新築増改築、備品や防犯灯の設置などに7割を補助している。令和2年度は84件の補助実績があり引き続き整備を進めていきます。



議員 自治会放送が無線化になりつつあるが、小さい自治会は負担が大きいので、できるだけ自治会の個人負担が小さくなるように検討願いたい。

郡・大泊診療所受診者の薬の配送料について

町長 処方された薬は基本薬局での受け取りになっていますが、体が不自由な方、車の運転ができないなどの理由で薬局まで行けない患者については、薬局と患者さんとの取り決めにより、1回500円をいただいている状況です。

議員 配送料について助成はできないか。

町長 医師が処方した薬を薬局が渡すことであり、運ぶだけではなく薬剤の説明もあることから、薬局と患者さんの取り決めで500円が妥当であったとお聞きしております。

議員 院内処方できないか。

佐多支所長 薬剤の在庫管理や調剤などに多大な時間と人的経費がかかることから、患者サービスへの影響が懸念されるため考えていません。

高齢者・障がい者対策について

議員 現状をどう捉えているか。

町長 運転免許証を自主返納された方は令和元年度、2年度ともに49名ずつであり、移動手段の確保が困難な状況になっています。町としてはコミュニティバスや福祉タクシー利用券の交付により、住み慣れた地域で安心して暮らせる施策に取り組んでいます。

議員 電動カー購入に対する支援は考えられないか。

福祉課長 介護保険制度の中でリースは可能であるが、保険適用にならない高齢者の利便性向上のため支援の方法等を検討してまいります。

温泉利用券の状況は

町長 温泉保養助成利用券として20歳以上65歳未満に30枚、65歳以上に40枚の利用券交付を行っています。令和2年度は65歳未満282名に、65歳以上576名に交付され、51%の利用率となっています。

議員 ネッピー館の家族風呂は1時間千500円となっており、料金を改正してほしいとの要望があるが。

福祉課長 他町では千円もあり、福祉風呂については時間制限なしで300円の町もあります。

議員 前向きに検討していただきたい。

立神公園整備について

議員 トイレ建て替えは考えられないか。

町長 整備完了から経年劣化による老朽化は否めないところであり、改修等の対策が必要ことは認識しております。

議員 場所的には大変いいと思う。改修建て替えが可能であれば、駐車場寄りに検討していただきたい。

そろそろ考える時かな、町民要望の議員定数削減。

議員のひとり言

災害対策基本法が 改正されたが町の計画の 改正点と対応は



「避難準備・高齢者等避難開始」は「高齢者等避難」
「避難勧告」と「避難指示」は「避難指示」に一文化
「被害発生情報」は「緊急安全確保」に
改称され広報誌で周知しました

町長

議員

配布されたプリントの文字が小さく分かりにくかった。

町民が慌てることの無いようしっかりと周知してほしい。

防災無線が聞こえない住民、また、聞き逃した場合の対応は。

町長

今年度から災害時支援協定のに基づき、MBCテレビのデータ放送、及びスマートフォンアプリによる配信を始めました。これらを活用した情報の収集確認方法についても周知していきたいと考えています。

新成人(式)について

るよう広報・周知に努めます。

議員

溜まった水を汲み出すポンプは町に備えてあるか。

町長

専門的な機器としては備えていませんが、国土交通省と毎年協議をし、もしもの時はポンプの貸し出しができないか協議を行っています。

議員

令和3年の成人式が中止になった理由は。

教育長

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、町民や新成人、家族の安全を確保するため中止にいたしました。

議員

中止の理由は理解しました。では、これまでに成人式が中止になったことがあるか。

教育振興課

合併の平成18年から令和2年までの15回全て開催し、中止はありません。

議員

新成人もコロナ禍において犠牲になったのでは、と考えるが何らかの助成はできないか。

町長

ご意見として賜り、次回検討させていただきます。

議員

過疎化が進む南大隅町にとつて子どもたちは町の宝です。

いつかはこの町に恩返しをして役に立ちたいと思っている若者たちです。令和3年の新成人の思い出が少しでも良い思い出になるよう検討していただきたい。

放射性廃棄物問題について

町長

これまでも、「核関連施設の誘致は絶対にしない」と申し上げてきていますが、改めて申し上げます。「南大隅町放射性廃棄物等受入拒否及び原子力関連施設の立地拒否に関する条例」に基づき、核関連施設の誘致はいたしません。

議員

今回の選挙は南大隅町にとつて実質的な住民投票となり、核のゴミ拒否の民意が明確に示された選挙でした。

核関連施設反対の石畑町長が当選されたことは町の希望になったと考えます。

鹿児島県全体のためにも、子どもたちの未来のためにも反対の意思を貫いていただきたい。

福祉タクシー利用助成事業・ はり、きゅう等受診券交付事業・ 温泉保養助成事業の利用状況は



町長

令和2年度 補助事業の交付状況

	対象	人数	交付
福祉タクシー券	75歳以上	2,119名	303冊
はり、きゅう券	65歳以上	3,412名	230冊
温泉券	65歳以上	3,412名	576冊

議員

対象者数に対して交付数は少ないです。根占と佐多地区で比べると利用数が断然違います。

	地区	発行
タクシー	根占	249冊
	佐多	54冊
はり等	根占	159冊
	佐多	71冊
温泉	地区別不明	

対象者なのに使えないと誤ったとり方をされる方や、手続きの仕方がわからない、どこに行けばよいかわからない、いくつも課を回るのが面倒だという声もあり、それが利用の低い要因ではないかと思っています。以前も言いましたが、各課ごとの申請ではなく、1ヶ所で申請ができるようにならないか。

町長

利用されたい方が、制度の周知を知らずに、利用できなかった、ということ、あつてはならないかと思っています。見てわかるような周知のあり方を検討します。また、窓口での申請等については、来訪時にすべてが済むような案内の仕方や、申請手続きの方法等を、また、スムーズに1つの窓口で終わる形も検討したいと思っています。

議員

町民にとっての利便性を考えて新しい試みを検討していただきたい。

各事業の利用券を更に普及啓 発する方策を考えているか

町長

サービス事業のチラシ等を作成し、配布するなどの工夫も検討します。

議員

わかり易く情報を出していただきたい。自治会長や老人会などでも補助事業の周知をしてください。

利用率が低い要因を挙げましたが、使い勝手もあると思います。温泉は行かないがタクシー券がもつとあればと言われたり、はり、きゅう券を増やして欲しいと言われる方もいます。この3つの補助事業を共通券にすれば町民にとって使い勝手が良いと思います。共通券にはできないですか。

町長

高齢の方が多い本町で、利用頻度や利用形態によって合体とまでいなくても、利用枚数の調整とか、改廃も検討の時期ではないかと感じた次第です。

議員

共通券ができなければ、新たな給付事業として、高齢者に健康で元気に生活していただくため、高齢者支援事業としての共通券はいかがか。対象が65歳以上の高齢者で、タクシー券や、はり、きゅう券、温泉券にも使えて町内の買い物にも使える利用券にすれば高齢者にも喜ばれ、経済も活性化するのは。所信表明で、「お年寄り世代の方々に楽しみが持てる環境

づくりを進めていきます」と述べられたので、ぜひ、町民世論を生かしていただきたい。

町長

提案の自身がその方が利用しやすいと言った時に、適正な価格、利用枚数、利用体系など必要となる意見等が多ければ検討の一つではないかと考えます。

議員

高齢者の方が、日々の疲れをとったり、買う喜びや楽しみが増えることによって活力が湧き、健康寿命も伸ばせると思います。前向きな検討をしていただきたい。

役場業務で24時間の連絡体制をとっている業務の現状について

町長

携帯を保持している部署は、本庁・支所の消防担当と水道担当と診療所です。風水害、火災などの災害や漏水等の対応等、救急時の備えとして使用しています。今後も連絡体制は、維持していく考えです。

議員

24時間携帯を保持するのは拘束にあたると思います。私たちが安心して暮らしていけるのも職員の方々の働きのおかげだと思います。これからも町民のために頑張ってもらいたい、また良い仕事をしてもらうためにも、仕事と休養のバランスがとれるように業務の改善を考えていただきたい。

農業所得の

向上対策について

(今回は、特に園芸農家に絞って)



農業所得に対する 現状認識は

議員

第一次産業従事者の所得向上対策は、町の活性化に重要不可欠であるが、農業所得、特に園芸農家の一人当たりの所得の現状をどのように考えるか。

町長

近年3か年の一人当たり平均所得が54万7千円となっており、決して高い位置にあるとは考えていません。

具体的な 所得向上対策は

議員

新規就農者や担い手育成に向けた各種の補助金制度は多種あるが、このような制度を活用されない小規模農家や高齢者農家は、他の業種と比較し所得の低い現状であるが、このような園

芸農家に対する具体的な所得向上対策は、どのように考えているか。

町長

本町の第一次産業、特に耕種農家については、温暖な気候を生かした春馬鈴薯や豆類、ピーマンや暖房インゲン等の施設野菜、近年生産量が増えてきているパッションなどの熱帯果樹や中晩柑を主体として、新たに農家の皆様が営農しやすい生産環境基盤整備や雇用確保対策などにより所得向上に努めます。

所得向上対策として流通経費の一部(農協等の出荷手数料)を町が負担する考えはないか

議員

今現在を一生懸命頑張っております中・小規模農家が少しでも喜んでもらえるような

直接的な所得向上対策として、農協等に出荷される際の各種手数料のうち、選果場から市場への出荷手数料をすべての生産者の共通経費として捉え、町が負担すること、で、わずかでも農家所得が増え、生産意欲の向上や作付面積の増加更に、本町独自の支援策として新規就農者確保等のPR強化にもつながると考えるが、この出荷手数料を町で負担する考えはないか。

町長

農家所得の向上策は、施策の根幹でもあるが、農林水産業のバランスの取れた生産振興施策を実施するに当たり、現段階では、農家所得の向上に向けた基盤整備を優先課題として効果的な施策を進めます。



馬鈴薯の収穫風景



町道辺塚港線

町道「辺塚港線」の 拡幅整備について

議員

辺塚地区の生活環境改善と事故防止対策などを踏まえ、地域の長年の懸案である町道辺塚港線の拡幅整備は。

町長

県道内之浦佐多線の辺塚橋から辺塚漁港を結ぶ延長357メートルの町道整備については、以前より拡幅整備の要望をいただいている路線であり、今後、有利な財源の活用も含め調査検討し、事業実施に向けて取り組んでいきます。

町民が生涯安心して暮らせる
まちづくりを目指す新しい政策とは
具体的な事業は



畜産環境改善・自治会放送機器等
への補助、子育て世帯の経済負担
軽減を考えています

町長

まず取り組みを進めてい
きたい事業としては、「第一
次産業の支援」「子育て支援の拡充」
「自治会活動への支援」であります。
細かい部分につきましては、限り
ある町の予算・起債と基金のバラ
ンスを考えて、任期四年間の中で
早い時期に政策立案の過程を踏み
たいと考えています。

議員

任期四年間で計画的に着
手されることを望んでおり
ますが、具体的な意向がわからな
いと、次の「相談しやすい役場」
職員の意識改革の施策、職員の業
務への取り組み方、意識の持ち方
が変わらないと考えます。
早期に政策事業、明確なものを
提示いただきたい。

町長

第一次産業の振興による町税寄与、
光回線活用、閉校跡地への企業誘
致に取り組みます

新たな自主財源確保の計画はないか

町長

令和三年度当初予算
における自主財源は19億
1千496万2千円で、自主財源
比率は27・2%となっております。
平成26年度から国債等の運用によ
る自主財源の確保に取り組んでい
るところであります。世界経済
の景気動向を的確に見極めながら、
基金を運用して歳入確保に努めて
いきたいと考えております。

議員

国・県の施策等にいち早
く察知し、インフラ整備を
もとに錦江町、肝付町等と連携を
とりながら、大隅全体で盛り上が
る自主財源確保の方法、例えば「宇
宙ロケット関連」「半導体製造工場」
誘致など、模索願いたい。

町長

商工業種への
支援金を望む

必要な対策を考えます。

工商
課長
商観

コロナ禍において大変厳し
い状況が続いているのは認識
している。業種を問わず支援金を
給付する事業を検討中。今回補正
予算でプレミアム商品券増額、ま
ずは事業を継続していただくこと、雇
用を守っていただくことを最優先し、

教育環境・一貫教育進捗は

教育長

本町学校は全てエアコン
設置、タブレットも全児童・
生徒・教職員分の配置を完了。コ
ロナ禍で研修中止のなかではある
が、町内のネットワークは構築、学
びの場、交流の場を可能な形で提
供しています。

今現在、支援を要する児童生
徒が増えておりますが学習支援
員、配置専門スタッフの効果的活
用、学校の実態に基づいた専門機
関との連携を積極的に行っている
ところであります。佐多地区にお
いては、令和二年度から学校運営
協議会を立ち上げ、保護者及び地
域のご理解、ご協力必要不可欠と
考え本年度は説明会も実施したい
と考えています。

議員

平日中の消火活動提案

現在、平日昼間の時間帯、
各分団、消防団員が仕事の
関係上、町内不在の現状から、本
町役場消防隊、三十四名が主力で
あり、役場隊の技能向上と各分団
資機材活用を提案いたします。

後藤 道子 議員

移住、定住の居住環境整備は



町長

公営住宅等長寿命化計画の策定作業の中で協議検討を

答

議員

現在の状況では、移住者が希望する物件がないに等しい状況と考えるが、何か打開策があるか。

町長

居住環境の提供ができませんが、現状は空き家バンク登録の物件の中から選択して、改修等の補助を交付しています。

議員

総合振興計画の中に良質な住宅ストックの維持、町営・公営住宅の計画的な整備とあり、居住ニーズに対応した住宅ストックの維持に努めるとあるが整備予定は。

町長

公営住宅の整備予定として、令和4年度に横馬場住宅、令和5年度から諏訪3号住宅

の建て替えを計画して現在準備を進めています。全体的な整備予定は今年度、新たな公営住宅等長寿命化計画の策定作業の中で協議検討します。

議員

若者世帯が入居できるような、例えば塩入団地のような設計を諏訪住宅に計画できないか。

町長

公営住宅の建設計画を見直して、定住促進住宅への切り替えは可能と思います。ただ、定住促進住宅の場合補助枠が少ないことから、町の単独の住宅として建設することになり、補助事業がない関係で厳しいです。

他町においては、民間の住み続けることが可能な住宅を町が買上げて、町営住宅として整備し移

住者に住んでもらった後に、その方に売る形の事例もあります。空き家の多い本町でも活用できるのではと考えています。

町長

奨学金制度の見直しの考えがあるか

議員

奨学金の貸付は金融機関に委ねる形ですが、これまで5件の申請が受付されなかった状況は、親に対する投資とみなされてのこと、将来ある子供に對しての投資であるべきだと考えます。本当に困っている人に手を差し伸べるのが行政だと思います。今後は誰でも奨学金を必要とする方に貸すことはできないか。

教育長

今、鹿児島県が行っている奨学金制度も回収に苦慮している状況なので、負担を考えて今の状況のままで貸付をしているところですよ。

- その他の質問は
- ・SDGsの取組について
 - ・学校運営について



議員

町長は奨学金の見直しは教育にかかる費用の一部を助成する考えがあるとのことだが具体的には。

町長

宮迫ヲノリさん夫婦の遺徳は南大隅町の教育のために使う意思であるため、幅広い部分で支援する考えです。

議員

幅広い支援であるならば入学時の準備費用と修学旅行、バス通学の定期券購入なども高額な出費になりますので、保護者としては負担軽減されるよう早急な支援の確立を希望します。

議員のひとり言

移住・定住促進には、居住環境整備から

所管事務調査報告

学校等調査

令和3年6月25日（金）
令和3年7月2日（金）

ねじめ幼稚園、神山・佐多小学校、根占・第一佐多中学校、給食センターに赴き、授業参観を兼ねて施設等を視察したのち概要説明を受け、意見交換を行いました。

学校等及び委員からの意見・提案を受けて、委員会の意見としてまとめたもののいくつかです。

その他の学校等については、現地でお話ししました。

●佐多小学校

・挨拶励行ができています。3つの「あ（挨拶）、温かい言葉、後片付け」は、良い取り組みだと感じました。

・運動会など中学校と合同で実施しており、合理的で、段階的に増やしていきたい、との説明を受けました。また、小学校単独研修から中学校にも声をかけ実施しているとのこと（PTAも同様）。今後も継続して実施してください。



●根占中学校

・GIGAスクールでは、デジタル教科書やロイロノートの活用を説明され、教員も習熟してきたとのことで、参観授業でも活用され成果が伺われました。

・いじめに関しては、令和2年度は、数件認知された事実があったが、すぐに対応したとのことでした。今後も相談（面談）体制の充実のもとより、相談しやすい雰囲気づくりなど検討してみてください。

農業委員との意見交換会 令和3年6月25日（金）

農業委員会から委員会制度の概要説明及び農地の状況説明を受け、意見交換を実施し、今回は委員6人を選出していただき、活発な意見交換を行いました。

委員からの要望・提案を受けて、委員会の意見としてまとめたものです。

・本町が今年度以降設置しようとしている「農業公社」について、意見を伺ったところ、概ね設置に賛成の意見が多かった。ただし、設置については、①住宅の確保②農地の確保、③施設（園芸・畜産等）の確保が絶対的に必要。特に、住宅については、早急に対応していただきたい。

・大中尾、辺塚地区の南部開発基盤整備の農地については、荒廃地が目立つことから、特に力を入れて新規就農者をあつせんしてもらえないか。

辺塚地区は就農すれば、高収入が得られる農地だと考え

られます。

・人・農地プランで、具体的な利用方法等について、地区の農地図面に記入した形の計画が必要。事務的な手助けが農業公社でできるシステムを構築してほしい。

・圃場の基盤整備が必要（大規模圃場の整備）また、みどりサークルで、景観作物を植栽しているが、遊休農地解消にはとても及んでいない現状である。

・新規就農者等への支援については様々な施策があるが、既存の農家（特に高齢農業者）に対して支援策を考えてよいのではないか。



所管事務調査報告

交通安全施設等調査及びごみステーション等調査

令和三年六月三十日、町内において交通安全施設等調査及びごみステーション等調査を行いました。

今回は、主に町道の通学路、防護柵、反射鏡、白線の状態、及びごみステーションの設置状況等の実地調査を行いました。

■調査箇所

- ①塩入団地～塩入橋手前の交差点
- ②南大隅高校職員住宅から針馬場への四差路
- ③城内地区・諏訪地区周辺
- ④横別府地区・鹿屋吾平佐多線
- ⑤馬籠・郡・竹野浦・外之浦・大泊
- ⑥佐多岬ロードパーク線・田尻周辺
- ⑦伊座敷～宮田丸峯地区・根占中学校校門下



【調査結果に対して要望・検討】

- ①通学路においては交差点の安全確保が行えるよう整備の要望。
 - ②町道において、側線が消えている箇所が多数見られるため確認し、優先すべき箇所から引き直しを要望。
 - ③防護柵の腐食が見受けられる。また危険箇所については、防護柵や反射鏡の設置整備の要請。
 - ④安全確保の上でも反射鏡の清掃・支障木の伐採を随時実施。
 - ⑤ごみステーション設置場所が消火栓、消火器ホース格納庫付近となっている箇所がある。また通学路となっているため自治会との協議を要望。
- ※その他、委員から出た要望等については、取りまとめで担当課へ報告しました。

神山小児童議会傍聴

6月22日・23日の6月会議に神山小6年生51名の児童が総合的な学習の一環として議会傍聴に来てくれました。

児童の感想 「議会を 見に行つて」

- 南大隅町の課題や問題点を資料などで詳しく説明し、解決することのできて、良い経験になりました。

古殿 友愛

- みなさんが地域のことにについて、一生懸命、話し合っているのを見てとてもあこがれました。

野崎 暖乃

- 自分が発言するときに、資料をまとめて提案したり手をあげて、ていねいな言葉で話したりしていて、私たちも話し合いのときに、参考になると思いました。町の人たちがよくよく暮らせるために議会を開いてくださっていることがわかりました。
- 北山 瑛梨
- 社会の授業を通して「私たちの暮らしを支えてくれる」ということがしっかりと心に残りました。
- 梅木 陶子

- 議会をやるところやどのように話し合いするのか、やはり本物を見た方がとても分かりやすかったです。

立神 鈴奈

- 私は自分の意見をはっきり言うことが苦手なので議会見学をして、自分の意見をはっきり言えるようになりました。

安達 優音

- 議会では町のことを一生懸命話していて、とても頑張っているんだと思いました。

大塚 滉士

- 真剣な表情の人ばかりで、張りつめた空気が少し怖かったです。でも、町を動かす政治がどのようにして成り立っているか見られて良かったです。

川畑 栞音

- お手本にしたいぐらいスムーズに静かに進んでいて、こんな感じで話し合っているのかと初めて知りました。

栗之脇 未夏

「みんなの議会」のモニター募集!!



令和2年度に実施されたモニター会議

南大隅町議会 広報広聴常任委員会では、議会広報誌のモニターを募集しています。

年4回発行される「みんなの議会」に対して、皆様のご意見やご感想をいただき、今後の議会広報活動に活かしていきたいと考えています。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

【連絡先】

南大隅町議会事務局

☎0994・24・3141

編集後記

今年の梅雨明けは昨年より早かったですが、期間としては、平年より15日長い梅雨となったようです。

今年も各地で豪雨による被害がありました。

我が町は、台風による被害が昔に比べると少なくなっている状況ですが、土砂災害の発生する恐れのある地区は多いため、早めの避難を心がけるとともに、町からの発表される指示情報に注意してほしいものです。

今回より議会広報誌も新たなメンバーで作成して参ります。

皆さんに議会をより身近に感じていただき色々な意見、ご感想をいただけるように頑張りたいとおもいます。

今後も暑さが続きますが、熱中症とコロナ感染の二本立ての対策をお願い致します。

後藤 道子

表紙の風景

「交流を深める児童」



【お知らせ】

9月会議は、8日（一般質問）、9日（一般質問）、24日に本庁議事堂で開催予定です。「みんなの議会」で見ることができない議会が、ご覧になります。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

【発行責任者】

議長 松元 勇治

【広報広聴常任委員会】

委員長 幸福 恵吾

副委員長 後藤 道子

委員 森田 重義

委員 上之園 健三

委員 平瀬 十助

委員 大坪 満寿子

議会を傍聴してみませんか！